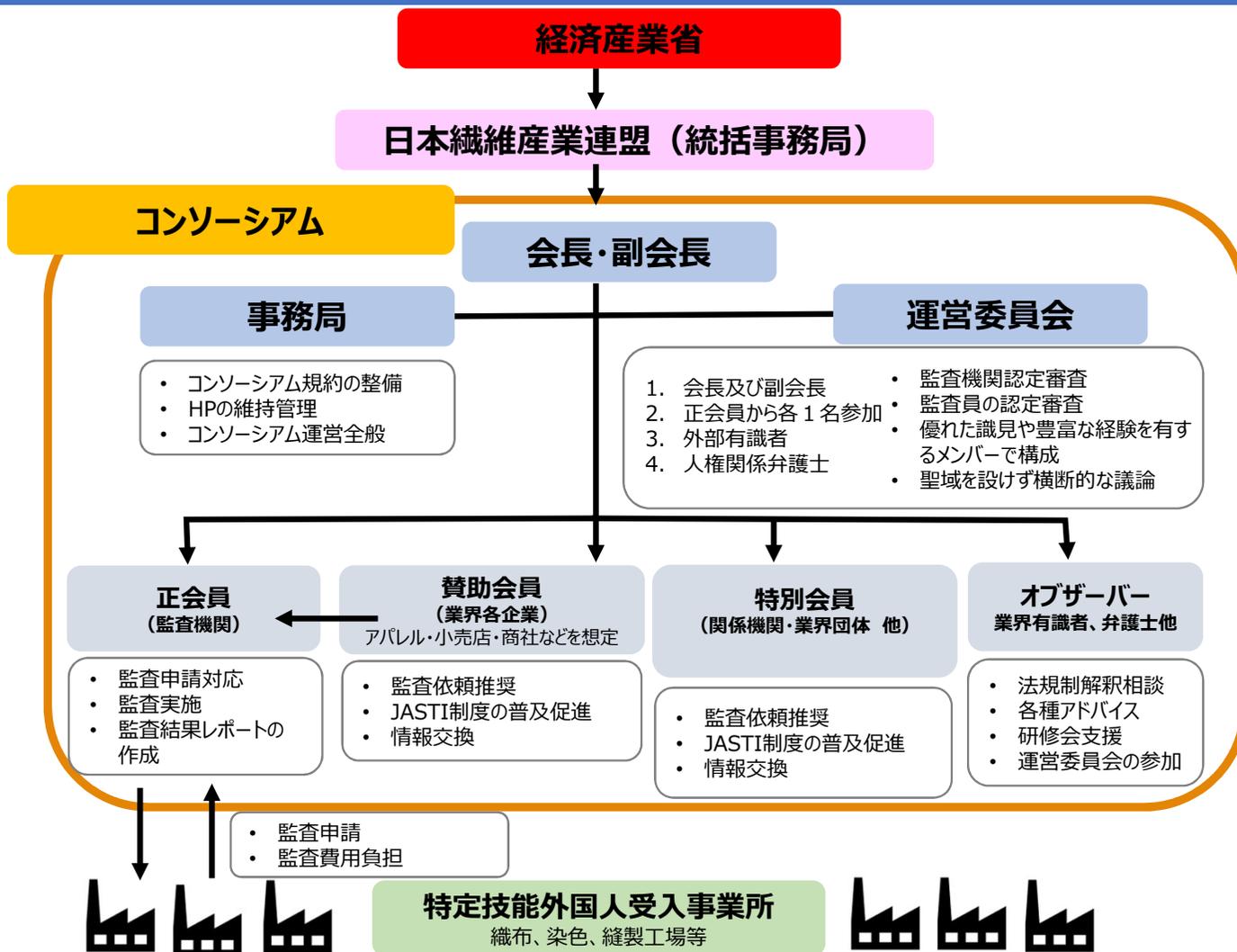


人権デュー・ディリジェンス
推進コンソーシアム
による
JASTI監査運用体制について

コンソーシアムの体系



「正会員（監査機関）」

- ・ 一般財団法人 カケンテストセンター
- ・ 一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
- ・ 一般財団法人 ケケン試験認証センター
- ・ 一般財団法人 ボーケン品質評価機構

コンソ規約

- ・ 設立目的
- ・ 活動内容

- ① 人権監査に関する研修会を開催
- ② 人権監査に関する情報共有
- ③ 監査方針・運用ルール変更の情報共有
- ④ 監査機関の認定・管理
- ⑤ 監査員の認定・管理



監査機関とは（人権DDコンソ設立メンバー）

公正・中立な第三者品質試験及び監査機関

繊維産業全般に対して

（原料調達から製造、流通、小売りの全てのプロセスを対象）

- 生産、流通から消費までの豊富な知識
- プロの品質管理技術者が多数在籍
- 豊富な試験設備

これらを活用した品質評価試験を通じて消費者に「安全」・「安心」を届けるサポートを行う、国際的な試験機関で構成されています

繊維製品（糸、生地、最終製品など）はもちろん、日用雑貨、玩具、革類、紙、ゴムやプラスチックなどの樹脂類、その他産業資材など幅広い分野にわたって試験・検査を行っております

当コンソーシアムに所属する監査機関は、JASTI以外にも国際的な人権監査及び日本国内でのCSR監査に精通し、豊富な監査実績を有しています

監査員育成及び監査報告書の発行プロセスなどをシステム管理することで、中立的な監査機関として「公平」、「公正」な監査を実施することが可能であり、**JASTI監査を実施できる機関として認定されている**

人権DDコンソ認定監査機関 人権監査業務の強み

第三者機関

- 公平な立場で客観的な監査の実施

監査結果の品質を確保

- 監査結果の社内レビュー体制の確立
- 監査結果承認プロセス

監査実績

- 国内外の豊富な監査実績数

製造工程の専門的な知識

- サプライチェーンの各段階の製造工程の専門的な知識

監査結果のアフターフォロー

- 監査結果の詳細を説明及び解説

監査業務のマネジメント力

- 従来から保持している組織のマネジメントシステムを活用
- 独自の監査員教育、育成プログラムを確立

一般的なJASTI監査受託の流れ



申請者様
(被監査企業)

①お問合せ
各監査機関へ
相談・問い合わせ
(メール・電話)

③JASTIの理解
『JASTI監査要求事項・
評価基準』、『監査時確
認資料』などの確認
(JASTIポータルサイト、
各監査機関から入手可
能)

⑤監査依頼
(申請書類の提出)

- ・監査申請書
- ・『就業規則』、『工場プロフィール』、『監査時確認資料の有無』など、各監査機関から要請された事前提出書類

⑦現地監査実施

- ・現地書類確認
- ・現地インタビュー
- ・現地確認

**⑨工場監査レポ
ート(最終判定用)**
の受理

監査機関

②ヒアリング
・会社名、連絡先、
業種、所在地、監査
希望時期などの確認
・監査の流れの説明

④依頼方法のご説明

- ・申請書類の説明
- ・お見積り
- ・監査日程調整

⑥監査申請正式受理
(契約)

- ・申請書類の確認
- ・監査時確認資料の有無の確認
- ・監査日確定
- ・請求書発行(事前入金の場合)

**工場監査レポート(現
場確認用)の発行、
指摘内容の説明**

⑧最終結果の報告
各監査機関での監査
結果のレビュー、承認
**工場監査レポート(最
終判定用)の発行**
↓
統括事務局へ報告

- ・ 監査申請の受理から監査結果レポート発行まで通常は2～3か月程度
- ・ ただし、監査申請が混みあっている場合、通常より時間を要することがあります

※各監査機関にお問い合わせ